

LIT420 文学に見られる女性

4年 3,4クォーター

担当教員 Laura Kobata

授業形態 講義

単位数 2

曜日・時限 未定

授業概要

このコースでは、文学における女性について概観する。女性作家が生み出す文学の中に、表わされている彼女達の文化と社会に対する勝利だけでなく、葛藤にも焦点を当てる。ジェンダーによるアイデンティティに影響を及ぼすようになった歴史的、哲学的、宗教的、文化的な力について考え、女性作家が自らの作品の中で、これらの力に対してどう対応してきたのかを見ていく。

到達目標

- 歴史的、哲学的、宗教的、文化的な運動が、文学において主題や作家としての女性の役割にどのような衝撃を与えたかについて概要を学ぶ。
- 文学におけるフェミニズム批評の起源と発達について、実際に役立つ知識を得る。
- ジェンダーと言語の関係を掘り下げる。
- 特にシンボル、テーマ、視点などテキストの要素に関して、文学的分析と解釈のスキルを発達させ、磨きをかける。
- この授業で読んだテキストを生み出した作家たち、また、その創作の契機となった文学的・社会的運動について知識があることを示す。

先修科目

TOEFL500 点に達していて、ENG100a と 100b を履修していること。そして最低限次に述べるものをどれか一つ履修していること。

LIT200(アメリカの短編小説),LIT300(アメリカ文学の諸トピックス),もしくは LIT310(アジア系アメリカ文学)

教科書・参考資料等

講読教材

日誌 (B5判)

成績評価

- 講読内容に対する意見提示/日誌 35%
- 試験 40%
- (中間 (フォーマルなリーディングレポート) 15%、期末 (自宅試験 25%))
- アクティブスピーキングとディスカッション 25%

授業スケジュール (変更される場合がある)

第1週：導入とオリエンテーション

第2週：文学における女性についての導入

第3週：研究主題としてのジェンダー：必要な用語

第4週：神話における女性

第5週：研究主題としてのジェンダーと文学

第6週：フェミニスト批評入門

第7.5週：まとめ、中間試験 (第3クォーター終了)

第8週：ルネッサンスから啓蒙運動期までの女性

第9週：ロマン主義運動以降の女性

第10週：ビクトリア朝時代の女性 (続)

第11週：文学における19世紀の女性

第12週：文学における20世紀の女性

- 第13週：文学とフェミニスト批判における21世紀の女性への「他者」の包含
第14週：現代の女性作家
第15週：文学における女性に関する現状と動向
第16週：まとめ、期末試験（第4クォーター終了）

事前・事後学習

- ・ 予習：参考図書の該当する章を予習しておくこと（1時間程度）。
- ・ 復習：授業内容を復習し、疑問点を整理すること（1時間程度）。